

## 入新井第二小学校改築事業 基本構想及び基本計画 ご質問等まとめ

### ★改築工事について

ご質問等	区の考え方
現在の校舎内に使用されているかは不明だが、もしアスベストが使用されていた場合、解体作業期間における児童への安全管理はどのように徹底されるのかについて明記いただきたい。	アスベストの含有については、今後の設計において詳細な調査を行います。調査の結果、含有が判明した場合は、大気汚染防止法や東京都環境確保条例を遵守し、飛散防止対策等講じながら解体工事を行っていきます。
安全対策は、学校部分と工事部分を囲いによって明確に仕切るだけではなく、作業員の学校への出入りなどの安全対策は講じられているのか	交通誘導員の適切な配置や登校時間中の工事車両通行禁止等の措置を行いながら、児童及び近隣住民の方々の安全を最優先に工事を進めていきます。
工事中の事故防止策、及び児童への安全配慮について。大型トラックや重機等も頻繁に出入りすることが予想される為、安全対策はしっかりと行っていただきたい。特に子供は興味本位で予想外の行動を起こす場合があるので。	
安全を最優先して工事を進めてほしいです。	
事故の無いように無理の無い計画・進捗管理を	
入二小への進入路となる道路は一方通行、狭く、池上通りも渋滞が多い。工事車両の管制、誘導をキチンとして頂く様に要望いたします。(待機車両の場所、等)	
怪我の無いように気をつけて欲しい。	
工事開始時期が今後遅れることはあるのか	工事開始時期も含めたスケジュールに関しては、スケジュール案のとおり予定しています。スケジュールに大きな変更がある場合は周知させていただきます。
工期が長すぎと感じます。R5年に入学する児童生徒は、卒業するまでずっと工事になってしまいます。解体と新築工事をもう少し同時進行させ、全体を4年ぐらいで終わらせないでしょうか。	本改築計画は、児童への負担を最大限に軽減するため、小学校としての機能を止めることなく学校運営を優先した工程や工法を選定しています。すべての工事期間は、約7年程度かかると想定しておりますが、新校舎建設工事は1期と2期に分けて工事を行います。1期工事では、普通教室や特別教室等の校舎を建設し、1期工事終了後、建設した校舎を活用しながら学校運営を行います。
令和5年入学の生徒は6年間ずっと工事を共に過ごすこととなります。もっと工期を短くして、ゆっくりした時間を与える必要があると思います。 (例)長男は大森三中1年のとき工事がはじまり、3年のときはとりあえず新校舎に入れました。	
建設期間が6年もかかるのは、かかりすぎではないですか。短くすることで費用も安くなり、こどもたちへの負担も軽減されると思いますが、工期を短くする考えが優先されないのは何故ですか。	
工事期間が長期化することで子どもの教育環境悪化を出来るだけ軽減する。(整備期間の短縮)	
令和5年度に入学する娘がいますが、間に合えば少しでも完成した校舎を経験させてあげたいです。	
計画6年は長いです。ちょうど仮設工事期間が就学時期で少し可哀想です。半年でも一年でも工期を短くしてほしい。	
建設と解体の具体的な時期は、夏休みなどの長期休暇を使用するのか、それとも通常の授業のある時に行われるのか知りたい。	建設工事や解体工事は、夏休みなどの長期休暇だけでなく通常の授業時期も含めて実施いたします。
近所なので騒音には気をつけてもらいたい。	騒音・粉塵については、騒音規制法や東京都環境確保条例を遵守するとともに、低騒音の重機の使用や防音シート・養生シートの設置等の騒音・粉塵飛散低減を図りながら工事を行っていきます。
正門予定位置の目の前に住んでいるため、工事中の騒音対策について配慮を求めます。	
車両搬出入含めた防音対策	
授業のある時に工事が行われる場合があるなら、騒音などの対策が講じられるのか知りたい。	
授業環境を悪化させる騒音などの対策	
工事中のほこり(粉塵)対策を徹底して頂きたい。	
施工業者も長期に渡り出入りするでしょうから、日中近隣住宅に迷惑をかけないように徹底して頂きたいです。	
安全な動線の確保	工事車両動線に関しては、設計において検討を行います。工事説明会等で説明する予定です。
工事車両の出入りが示されていませんが、周辺は道路も狭く、密集しているため、車両の出入りは教育や生活に支障があります。車両の運行計画も同時に示すべきではないですか。	

## 入新井第二小学校改築事業 基本構想及び基本計画 ご質問等まとめ

### ★改築工事中の教育環境について

ご質問等	区の考え方	
計画実行によると思われるアレルギー症状等発生時の対応 バックアップ	アレルギー症状等が発生した場合は直ちに原因を調査し、工事関係者や学校職員と協力しながら適切に対応いたします。建築基準法を遵守したシックハウス症候群対策を実施いたします。	
仮設校舎の環境・設備を現状程度には維持して欲しい(エアコン等)	仮設校舎の詳細は、設計において検討いたします。空調設備や電子黒板、放送設備や照明等も完備しており設備や内装は既存の校舎と同等とする予定です。	
仮設校舎については冷暖房機能の設備はあるのか？		
仮校舎の説明がほしい。		
子供達の運動不足にならない様に配慮してもらいたい		
クラブ活動(グラウンドを使用する活動)はどのような活動になるか教えて頂けたらと思います。	改築工事期間中も体育の授業を継続的に実施し、運動する機会を確保いたします。体育の授業やクラブ活動、休み時間の屋外活動は、既存の体育館の利用に加え、工事期間中に設置する仮グラウンドを利用して実施する予定です。また、体育の授業数を減らす予定はありません。	
仮グラウンド利用期間中の体育の授業は、グラウンド以外(体育館を利用する、他校のグラウンドを利用する)を利用して実施するのか、または授業数が減るのか。		
子供の健全な成長のためには身体を動かす機会を設ける事が必要であるため、体育の授業・休み時間の外遊び・運動会などは縮小することなく運用していただけるよう強く希望する。		
計画実行中の子供たちの安全、健康、学習の保障		
グラウンドが小さくなり、遊べる場所が確保できない場合、大田文化の森や新井宿出張所の会議室の有効利用		
仮グラウンド利用期間中の運動会などの通常グラウンド利用する行事はどのように実施する予定か。		運動会は、近隣校のグラウンドを借用し実施する予定です。
運動会はどのように行う計画なのか。		
プール使用不可期間(代替案を検討中)とあるが具体的にどのような代替案が出ているのか公表して頂きたいです。	近隣の学校プールを借用する予定です。	
コロナで行事や思い出作りが制限されているので、通常とちがう環境下におくことがかわいそうなので、いつも通りの生活を送らせてあげてほしい。	現在、仮設校舎を併用する期間中も既存校舎と同様の教育環境を確保するよう対応いたします。	
改築中の子どもに対する方針はあるのでしょうか？		

入新井第二小学校改築事業 基本構想及び基本計画 ご質問等まとめ

★建設する校舎について

ご質問等	区の考え方
プロジェクター、電子黒板、情報機器用のLANなどの配備も必要かと思えます。	各普通教室と特別教室等に電子黒板を設置するほか、一人一台タブレット端末の配備・利用を想定したWi-Fi設備を設置する予定です。
エレベーターが必要です。 ・児童、保護者、避難所として利用する場合 ・身体不自由な方のために ・体育館を今までのように選挙(投票)で使用するときも	エレベーターを設置する予定です。
3「音楽室」が2階になっています。防音仕様にされるとは思いますが、近隣に音が漏れないとは限らないので3階にした方が、影響を少なくできるのではないのでしょうか。	音楽室等各教室の配置については、基本設計の中で検討いたします。また、設置にあたって、近隣への影響を考慮した防音対策を講じる予定です。
環境対策:給食などのゴミリサイクル→腐葉土→植物育成に活用	ゴミのリサイクル等の設備は設けませんが、ゴミの分別を徹底の上、適切に処理いたします。
新校舎にはソーラーパネル、雨水槽の設置予定はあるか。 省エネ対策:太陽光発電、窓のひさし、出来るだけ空調設備を使わない換気システム、人がいない時にスイッチを自動的に切る人感センサー付き照明	太陽光発電設備や雨水槽、庇の設置、換気の仕組みは設計において検討いたします。人感センサー付き照明は、トイレ等の限られた場所について設置を検討いたします。
エアコンによる冷暖房、換気の仕組みも必要かと思えます。	普通教室や特別教室には、空調と換気設備を設置する予定です。
浄化設備も備えているのでしょうか。	浄化設備の設置は予定していません。
感染対策:非接触水道	トイレの手洗い場には自動水栓を設置する予定です。
住宅地側に体育館を造るのはやめてほしい。日中も音が大きく騒音が気になるうえ、夜も開放されているときは騒音がひどい。改築後は目の前が体育館になるので、騒音被害がおきてしまつては困る。文化の森側にするなどの工夫をしてほしい。	本改築の配置計画については、学習環境や近隣への影響等を考慮し、計画いたしました。また、設置にあたって、近隣への影響を考慮した防音対策を講じる予定です。
耐火・耐震構造でしょうか。	耐火建築物・耐震構造を予定しております。
特別教室とは具体的にどういう用途の教室か？	設置する特別教室は、音楽室、理科教室、図画工作室、家庭科室、多目的室等を予定しています。
地域の集会施設などもあると良いと思う。	地域集会室を1室設置する予定です。
地域利用諸室とはどのような施設ですか。面積はどれくらいですか。	地域集会室やPTA室を設置する予定です。
「放課後ひろば」とは何をする部屋でしょうか。	放課後ひろばでは、放課後の安心・安全な居場所として、学童保育と放課後子ども教室を一体的に実施しています。
バリアフリーの設計になっていないと思われるが 健常者のみ対応の設計か？ユニバーサルデザインに包括されているという意味なのか	改正バリアフリー法(通称)に基づきエレベーターや誰でもトイレ等の設置を予定しております。
改築の前提条件がコンセプト、基本計画にバリアフリーが見えません。5階建ながらエレベーターが見えません。身体障害をもつ生徒(車椅子)、高齢化の道を教職員などを考えるとバリアフリーは必要と思えます。	
障害者対応:バリアフリー構造、階段とエレベーターの併設	
昇降口には外履きと内履きを履き替える下駄箱があるスペースでしょうか。履き替えずに外履きのままの生活で良いような気がします。	校舎内は内履きでの利用を想定しており、下駄箱を設置する予定です。
下駄箱にレインシューズが入る大きさの物を使用して欲しい。	下駄箱の大きさは頂いた意見を参考に検討いたします。
「学校の中心」は吹き抜けにするということでしょうか。	吹き抜けの設置等に関しては、設計において検討いたします。
校舎間の音が気になりますが、防音装置は着きますか。	児童の環境を考慮した防音対策を設計の中で検討いたします。
直接眼が届かない部分には、防犯カメラなどの設置が必要と思えます。	今年度、区立全小学校の校門付近に防犯カメラを設置いたします。

入新井第二小学校改築事業 基本構想及び基本計画 ご質問等まとめ

★建設する校舎について

ご質問等	区の考え方
図書室はぜひオープンスペースにしてください、常に本に触れられる環境をお願いします。	頂いた意見を参考とさせていただきます。
<p>「アリーナは、水害時の避難所利用に配慮し、備蓄倉庫とともに2階に設置」とありますが、水害以外の災害や選挙、地域開放にも使われるかと思しますので、以下の考慮をされては如何でしょうか。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 児童生徒だけでなく、地域としての非常時の応急食料・生活必需品等の備蓄</li> <li>2) 十分な喚起、ウイルス対策</li> <li>3) 空調などによる熱中症対策</li> <li>4) バリアフリー</li> <li>5) 階段とエレベーターの併設</li> <li>6) 更衣室とシャワーの設置</li> <li>7) 移動式の収納椅子</li> <li>8) 上部の窓には日除け用の幕などを設置されるのですが、フロアから操作できる電動式のブラインドが好ましいと思います。</li> <li>9) 式典や学芸会のための映像・音響設備</li> </ol>	
今回のコロナの教訓を生かし正門近く(手洗い場)、昇降口(手洗い場)、各教室入り口(消毒液おき)に各所に手洗い場等設置	
体育館を新設するに伴い「競技ドッジボール用のコートライン」を引いて頂きたいです。	
施設面積・校庭面積の確保など、最善の子どもの教育環境を確保する	
校舎やプール体育館の配置による騒音防止、通風、採光確保など、子どもの教育環境を確保する。	
緊急時対策: 自家発電・蓄電、雨水貯水、ヘリポート、避雷針	

## 入新井第二小学校改築事業 基本構想及び基本計画 ご質問等まとめ

### ★改築後の屋外環境について

ご質問等	区の方考え方
南門から度々歩道側に川になって流れ出る雨水を新グラウンドになったらグラウンド内で完全排水にしていきたい。	敷地外へ雨水等の影響が出ないように敷地内にて排水するよう検討いたします。
十分な離隔を確保とありますが、窓の配置などどのようになるか。 現在のグラウンドの南側の樹木がそのままであれば、多少は住民側への目隠しにはなりますが伐採などされてしまうのか。 教室が目の前になってしまう住民へなにかしら目隠しになるよう配慮を頂けるのか。	窓の配置や樹木の位置、近隣環境への配慮に関しては、設計において検討いたします。
グラウンドの材質は何か	利用の際の多様性を鑑み【土】による舗装を計画しています。砂埃対策として、荷重が重たく埃が立ちにくい素材の採用を検討するなど、配慮していきます。また、防砂ネットの設置も検討いたします。
グラウンドを人工芝にしてください	
今までは体育館だった場所がグラウンドに変わるとの事ですが、新しいグラウンドは土なのか、ゴム性のグラウンドになるのか教えてください。(土のままですと、砂ぼこりが舞ってくるのでは？と心配しております。)できるのであればゴム性のグラウンドにしていきたいです。	
現状でも砂埃がひどいので、これを機にタータンに変更することはできないでしょうか。	
校庭を南西に移設していますが砂ぼこり対策は大丈夫ですか。	
新旧のグラウンドの広さはどうなるのか。	新グラウンドは既存グラウンドと同程度の広さを予定しています。
グラウンド面積がほぼ同じという事ですが、形が長方形すぎるのではないのでしょうか。トラックの形も細すぎるのではないのでしょうか。カーブをまわるとき等危ないのでしょうか。	トラックの大きさについては運動会等の運用上支障がないよう設計において検討いたします。
「改築後の校庭は、既存と同等以上の面積を確保する。」とありますが、改築後の配置案ではグラウンドが現状に比べて縦長に見えます。運動会でトラックの周辺に見学席や父兄席を設けるスペースを確保できるのでしょうか。	
スピーカー、照明の設置場所、数はどうなる	スピーカー、照明の設置場所や数については、設計において検討いたします。
防護ネット用の支柱設置場所、高さ、強風対策の説明	防球ネットを設置する予定です。場所や高さ、仕様に関して、設計において検討いたします。
防球ネットの高さを十分確保願います。	
校庭は緊急物資搬送用大型トラック等の進入に備えた舗装強度として下さい。スプリンクラー散水設備は地上型として下さい。	【土】による舗装を予定しており、具体的な仕様については、頂いた意見を参考に設計において検討いたします。
グラウンド側からの騒音がとても気になります。具体的にどのような騒音対策をされてるのか教えてください。	グラウンドの周囲には、樹木や防球ネットを設置する予定ですが、騒音対策に関しては、設計において検討いたします。
文化の森側が日影にならないように建物の高さや位置は配慮ください。	「建築基準法」の日影規制を満たすとともに、「大田区中高層建築物の建築に係る紛争の予防と調整に関する条例」に基づき、説明いたします。
入二小学校正面の3間半道路(約6.36m)の対面の住民ですが今度の新校舎は最低でも「入二ひろば」くらい後退して校舎を建ててほしい。今の3F建てでも校舎の影が冬等は早いので。	
新校舎は最低でも入二ひろばほど道路より後退して建ててほしいです。	
放送室、緊急車両用の車寄せが必要なのでは。	緊急車両の動線については、設計において検討いたします。
今の正面玄関の側の「桜の木」はそのままにしてほしい。	改築後の学校の樹木は、設計の中で検討する緑化計画に基づき、整備いたします。現在の学校の植木は、樹木医診断を行いながら移植も含めて検討いたします。
校舎解体、仮設、新校舎建設に伴い、樹木はどの木を残すのか。伐採予定でも移植の方法の考えはあるのか。	
動物や植物の育成スペースは大丈夫でしょうか。	飼育小屋や菜園等を設置する予定です。
子供たちが植物を育てたりできる所。学校まわりを緑や花だんで癒しの場を作ってほしい。	
入新井第二小学校の計画で、道路との距離は十分確保されていますか。	大田区まちづくり条例等に基づく提供歩道を設置するため、現在の学校敷地よりも後退し、建設を予定しています。

入新井第二小学校改築事業 基本構想及び基本計画 ご質問等まとめ

★改築後の屋外環境について

ご質問等	区の考え方
「プールは敷地の有効活用の観点から屋上に設置」とありますが、屋根付きでしょうか。	屋外プールに屋根は設置しませんが、日除けの設置について設計において検討いたします。
子どもに対しての配慮として直射日光が当たらないように何か日除けが付けられるのか。	
プールに入れないことが問題になってきている中で、屋上配置には暑さ指数問題の対策として何が検討されているのかも知りたい。	
「ピロティにより、大田文化の森と学校の連続性を考慮」とありますが、何らかの方法で接続するということでしょうか。	入新井第二小学校と大田文化の森を渡り廊下等による接続はいたしません。正門を大田文化の森側に設置することにより、施設間の連携がしやすい配置といたします。
大田文化の森と上層階で道路上の渡り廊下を設置して、一体的な施設とすると、災害時にも有益だと思う。	
正門の位置は出来れば現在の場所が良いのではないのでしょうか。交通量もそれなりに多く、文化の森駐車場からの車の出入りの多さは危険に感じます。	提供歩道を設置し、児童の登下校の安全な動線を確保したうえで、配布資料の配置案のとおり正門の位置を移設する予定です。文化の森側の提供歩道はガードレールの設置も含め、今後の設計において検討します。
現在の北側・校舎側の校門より、新校舎の校門は遠くなっており、清掃車など交通量のある道路を通学しなくてはならないのでガードレールや歩道をしっかり設置して頂きたいです。	
・正門の位置は、文化の森に近づくと、文化の森の駐車場に近づき、子供が危ないので、現状の正門の位置のままにしてください。	
グラウンドの遊具もぜひ充実していただきたい。	頂いた意見を参考とさせていただきます。
うさぎ小屋の設置場所は今、現在の場所から近い所にして頂けると嬉しいです。	
校舎沿いの住民へ日常生活に迷惑がかからない設計を求めます。	
門扉は大型車両が出入りできる幅を確保して下さい。	
正門予定位置の目の前に住んでいるため、完成後の子供達の騒音対策について配慮を求めます。	
「外部からの出入りを考慮」とありますが、教職員・児童生徒以外も利用するとすると、勝手に教室などに立ち入らないように、ゲートなどを設ける必要があると思います。	

入新井第二小学校改築事業 基本構想及び基本計画 ご質問等まとめ

★防災機能について

ご質問等	区の考え方
備蓄倉庫は2階なので、資機材の搬出入のため、クレーン(非常電源付き)を設置して下さい。また、地域の在宅避難者対応の緊急物資等も保管できるような大型の部屋として下さい。	クレーンの設置は予定せず、エレベーターを利用しての搬出入を予定しています。備蓄倉庫の大きさは既存の校舎と同程度の広さを予定しております。
グラウンド周囲は難燃生の樹木による緑化をして、グラウンドに避難している人を保護できるようにしてほしい。	頂いた意見を参考とさせていただきます。
主たる避難所は2階アリーナなので、高齢者等がアクセスできるよう緩い傾斜のスロープを設置して下さい。	エレベーターの活用を予定しています。頂いた意見を参考に設計において検討いたします。
災害対策用トイレの数を充実して下さい。	災害用マンホールトイレや簡易トイレの備蓄を予定しております。
非常電源はコンセント、照明等にも給電でき、1週間以上の燃料を確保しておいて下さい。	太陽光発電による電源供給や非常電源機能付きの空調設備の設置に関して、設計において検討いたします。また、照明器具等に接続する発電機の備蓄も予定しています。
避難所となる場所には非常電源(自家発電設備)付きの冷暖房設備を設置して下さい。	
災害時に避難場所として使用してほしい。	災害時の避難場所として計画しています。
新校舎の避難所としての収容できる人数は	現状の収容人数である1,570人と同程度の収容人数を予定しています。今後、学校や近隣自治会・町会員等を構成員とした学校防災活動拠点活動において運用面等詳細な検討を行います。
ハザードマップの浸水被害想定時の浸水時の収容できる人数は	
学校は地域の貴重な避難所としての機能も大切です。アリーナのみでなく、普通教室、特別教室等も避難所として活用できるよう、避難者の動線、トイレ、管理区域との区画等をご配慮下さい。	頂いた意見を参考に設計において検討いたします。避難区画の検討等は、学校や近隣自治会・町会員等を構成員とした学校防災活動拠点活動において運用面等詳細な検討を行います。
改築中の避難所はどうなるのか。	工事期間中に災害があった際も、体育館は使用可能であるため、避難所機能は継続します。校庭を使用することができない場合は、校舎内の安全なスペースでの待機となります。

入新井第二小学校改築事業 基本構想及び基本計画 ご質問等まとめ

★学校の運用について

ご質問等	区の考え方
今も登校時挨拶を門の外でやっていますが、門の中でやってください。もしくは、辞めてください。うるさいです。	朝の挨拶は重要な教育活動の一つです。今後も配慮しながら実施させていただきます。
グラウンド貸出しで2019年10月12日台風通過時、双葉幼稚園の運動会準備でカラーコーンが10数個置いたままになっていた。万が一近隣住居に飛び被害が出た時どうするのか。	今後も安全面に配慮しながら教育活動を行っていきます。近隣幼稚園などに校庭を貸し出した際も安全面に配慮して使用していただくようにいたします。
もしエレベーターが付く新校舎なら児童たちも使わせてほしい。	エレベーターは安全管理上、児童には必要な時のみ使用させるようにいたします。いたずらなどで事故が起こらないように指導いたします。
多様な使い方や連携がしやすいと言いますが、どういうことを想定していますか。	図書室や特別教室など学校の中心にある施設を有効に使えるようになり、より多様な、学習の効果の高い教育活動を行っていくことが期待されます。
毎回スピーカーから名前などの連呼の音がうるさい。	放送による緊急の呼び出しなどで、校庭に音が出ないように配慮いたします。
体育館やプールを地域に開放してほしい。	体育館はこれまで通り地域に開放いたします。プールの地域への貸し出しは現在も実施しておりませんが、安全上・水質の管理などの観点から今後も貸し出しは実施いたしません。
登校、下校は正面玄関とグラウンド側の裏玄関の2か所としてほしい。	非常時を除き、不審者から児童を守る観点から、登下校は1か所にしています。新しい校舎になっても登下校は1か所の門で行います。
野球のボールが住宅の敷地内に落ちている時があったが取りに来ない。近隣住民への配慮を願う。	校庭を貸し出している野球の団体に伝えるなど、適切に対応してもらいます。

## 入新井第二小学校改築事業 基本構想及び基本計画 ご質問等まとめ

★その他事項について

ご質問等	区の考え方
結論として見直さないし廃止ですね。他の区、取り敢えず世田谷区は小学校の統廃合されています。生徒の減少等環境変化に対応ですね。山王小、入新井第一、第二、第三含めて生徒数はピーク時と比較されたのでしょうか？	入新井第二小学校の周辺地域の小学校は児童数も多く、統廃合する計画等はありません。
入二も古いですが入四も遠からず立て直す必要があるのでは？子供の数が少なくなっているのなら、この際統合して立て直しては？	
令和5年度より就学予定だが、改築を理由に近隣他校への越境は可能か	「指定校変更申請審査基準」において、①地理的・身体的事由②家庭事情③転居④性格・友人関係⑤部活動等の指定校変更申請できる事由を定めています。改築工事を理由とした指定校変更はできません。
そもそも全面建て替えの必要はないです。建て替えではなく、リフォームで充分機能すると思います。	築60年近く経過している校舎棟も存在しており、老朽化が顕著であるため改築する予定です。
学校(子供の施設)と、老人の施設を一緒にするという案は出なかったのですか？統合が嫌だと言うなら、それぞれに(入二も入四も)子供・老人施設とすれば良いのではありませんか？	他施設の複合化について、検討を行った結果、複合化に要する余剰面積が少ないため、複合化は行いません。
入新井第二小学校区の、未就学児の将来人口推計を教えてください。学校区が難しければ、大森地区、大田区について出してください。急激に減ることが予想されるのでないかと思うのですが、耐用年数はどれくらいを想定していますか。	大田区及び大森地区の人口推計は以下のURLにて掲載しています。 <a href="https://www.city.ota.tokyo.jp/kuseijoho/suuji/vision/vision_201806.html">https://www.city.ota.tokyo.jp/kuseijoho/suuji/vision/vision_201806.html</a> 新しい校舎は、定期的な計画改修を行うことにより約80年以上維持することを想定しています。
予定建物の規模は9000㎡となっていますが、内訳がわかりません。	予定建物の延べ床面積の詳細に関しては、設計において検討いたします。
現在の学校の教室や校庭の面積が示されていないので示してください。	現在の校舎の延べ床面積は約6,316㎡、校庭の面積は約3,300㎡です。
改築後の学校は何人、何クラス、1クラスあたり何人、を前提にした計画なのか示してください。	普通教室として、26教室を設置する予定です。 35人学級に対応した教室・校舎を予定しています。
学校用地を将来、売却することを想定してのレイアウトですが、売却することはないですか。	売却を想定したレイアウトではありません。
将来、施設を売却する予定があり、その後の使い勝手も考えていますか。	
改築計画協議会やワークショップのメンバーを教えてください。	改築計画協議会やワークショップには、PTA会長や民生・児童委員、近隣町会の町会長等に参加いただきました。また、在校の児童を対象としたワークショップも実施いたしました。
協議会やワークショップで議論する前提として、大田区は何を示しましたか。	大田区公共施設適正配置方針(概要)や改築に関するアンケート結果等を示しました。
プールが体育館の上に載ることで、別々の施設で建設した場合と、建設費、維持管理費は、耐用年数は、どのくらい違いますか。	建設費や維持管理費、耐用年数に大きな差異は生じないと想定しています。
「まとまりのある建物の良さ」は何ですか。	コンパクトな配置とすることにより、学年ごとのまとまりが構成しやすく、学習環境に寄与するスペースの確保がしやすい点が挙げられます。
長い歴史的な学校建物におけるコの字、あるいはL字の校舎の問題点は、どこにありましたか。	校舎の配置に関しては特に問題点はありません。
本改築計画に関して、近隣住民からの理解は得られていますか。	入新井第二小学校改築事業に関しては、適切に周知・説明を行ってまいります。
近隣の学校の体育館やプールを借りるなどしながら建て替えれば、建設費も安く工期も短くなりますが、仮設にこだわるのはなぜですか。	プールは近隣の学校に借用を検討しています。改築工事期間中は既存体育館を活用する予定です。仮設校舎については、建築コストの縮減や工期の短縮、改築工事中の教育環境等を総合的に判断しました。
建設費や維持管理費を出来るだけ軽減する。	頂いた意見を参考にさせていただきます。
一方で、現在の校舎が壊される前に、あの教室に身を置いて、出来るなら椅子に腰掛けてみたいと思います。卒業者のためにも、そんな機会を設けていただきたく、お願いいたします。	
子ども達が入二小の卒業生です。今回の計画を話したところ、解体前に一度校内を見に行きたいと言っています。もし可能でしたら地方にいますので、夏や冬の長期休暇にお願いできれば大変ありがたく存じます。	

## 入新井第二小学校改築事業 基本構想及び基本計画 ご質問等まとめ

### ★その他の頂いたコメントについて

ご意見等 貴重なご意見として、承ります。
計画のイメージはつかめました。
とても立派で分かりやすい「基本構想及び基本計画」を頂き施設担当の方々や関係者の皆様に感謝しております。今後、設計や改築工事がスムーズに進行されるように心から祈っております。(60数年前の入二卒業生です)
50年ほど前に卒業しました。少子化の中、新たに生まれ変わって存続することはうれしい限りです。旧校舎のお別れ会、新校舎の見学会はぜひとも行っていただければと思います。
とても素敵な学校になりそうですね。地域住民としてとても楽しみにしております。
私と子供が入二小に通い、ガラッと新しくなるのは淋しい気持ちもありますが、新校舎楽しみにしています。
親子二代、通学させて頂きました。きれいになる事は大変嬉しく思います。
入二小のOBとして、選挙の時しか足を踏み入れてませんが、子供たちのためにも立派なキレイな校舎になることを希望します。
年もとっているしむつかしいので子供もいないし高齢者で宜しく願いいたします。
将来の児童数の増減に適用できるよう、高齢者施設、幼保施設等への転用や共用が簡単にできるような設計にしてほしい。
行政も「たてわり」ではなく、これぞ大田区が全力をかたむけた未来に「入二」をつくってほしい。今ならまだできます。アライづくりの調査とならないことを期待します。
改築の基本的な前提条件は、安全対策、体育館の継続使用、自公給食、既存と同等以上の校庭面積確保の4点のようですが、 <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設面積・校庭面積の確保など、最善の子どもの教育環境を確保する</li> <li>・校舎やプール体育館の配置による騒音防止、通風、採光確保など、こどもの教育環境を確保する</li> <li>・建設費や維持管理費を出来るだけ軽減する</li> <li>・工事期間が長期化することでの子どもの教育環境悪化を出来るだけ軽減する</li> </ul> といった、極めて重要な前提条件がありません。
今から詳細設計をされるなら、大田区のモデルになるような校舎になることを望みます。
近年校庭にある備品にて死亡事故が発生しているが そのような事がないよう考慮されている旨の説明はなし。
入二の卒業生です。思い出深い校舎が建て直されると聞き、感慨深いものがあります。新しい校舎も、私達がそうだったように、たくさんの思い出を創る場所となることでしょう。期待しています。
公務員の気質で丸投げ、途中管理、結果評価、等ブランドチェックがなされていない区の事業に疑問有ります。
一度建設とすると60年？使用します。子供たちに「Beyond2050」少なくとも30年後の世界からのバックキャストした小学校を建設してください。石炭火力はできないでしょう。電気自動車あたりまえ、そしてカーボンニュートラルです。
今、「何を考え、何を考えなかったのか」「何ができて、何ができなかったのか」、その理由とともに明確にしておくことが、少なくとも30年前に小学校建設に携わったものの責務だと思います。答えはたくさんあります。ひとつである必要もありません。
ZEBが基本です。地域の防災拠点としての利活用です。どのように具現化しますか？それが子どもたちへの「生きた教育」です。ZEBのモデル校として全国から見学者がたえない「入二」が理想です。子供たちの誇りでもあります。
普通教室、特別教室、体育館などが敷地北西に密集していて、通風や採光が悪くなっています。
自校給食を維持して下さる事は非常にありがたいです。
在校生が今回の改築によって起こりうる不便や問題点について、例え検討中段階でもこの基本計画の書類には、記載をするべきだと思います。
イベント等の中止にならない様をお願いします。
60年の重さを耐え得るコンセプトを実現頂きたいと思います。
基本コンセプトは「RE100」です。
丁度入学時期に工事中で子供たちも落ち着かないと思うので、工事が遅れず予定通り完成して頂きたいです。
事業計画でのお知らせですが、令和元年に着手している時期から情報発信では？
今回の質問等への回答は、小学校・出張所およびホームページに掲載とのことだが、いつ回答がされるものかわからないため、今回のように資料として配布すべき。
質問は必ず回答し学校HPなどに掲載して下さい。